

景況・経営動向調査結果

- 平成28年度 第1四半期（4～6月期） -

■ 目 的 ■

会員事業所の経営動向・業況を知ることにより、長崎市内の景況を把握し、地域中小企業の支援策の参考にするとともに、中小企業経営者等に対して経営に必要な情報を提供する

■ 調査対象 ■

本所会員事業所のうち、5産業（製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業）400社
（回答281社、回収率70.3%）

※業種構成比及び小規模企業等の占める割合は、本所会員事業所の構成比を参考に抽出した

■ 調査期間 ■

平成28年6月9日～平成28年7月7日

■ 調査方法 ■

郵送・E-mailによるアンケート方式

■ 分析方法 ■

各調査項目について、前年同期及び前期と比較して、「良い」と回答した企業等の割合から、「悪い」と回答した企業等の割合を差し引いた指数（BSI：ビジネス・サーベイ・インデックス）をもとに分析を行なった

（注）小規模企業等 = 小規模事業者（個人事業主を含む）

製造業その他 ⇒ 従業員20人以下

商業・サービス業 ⇒ 従業員5人以下

（注）各調査項目について、季節調整は行っていない

業界の景況感

4～6月期の実績は、全産業ベースで▲28.2〔前回調査比-5.8〕

7～9月期の見通しは、全産業ベースで▲19.5〔今期実績比+8.7〕

業界の景気動向（景況感）の調査結果をみると、製造業は▲34.2と前回（3月）調査比10.6ポイント悪化し、非製造業においても、同▲27.4と5.2ポイント悪化した。

また、7～9月の見通しは、製造業は今期実績比7.9ポイント改善の▲26.3、非製造業は同9.0ポイント改善の▲18.4と、今期から一転して改善の見通しとなった。

会員事業所の業況（自社業況の総合判断）

4～6月期の実績は、全産業ベースで▲23.2〔前回調査比-7.6〕

7～9月期の見通しは、全産業ベースで▲18.1〔今期実績比+5.1〕

■売上・生産額	今期実績▲17.2（-2.1）	来期は製造業で悪化、非製造業で改善見通し
■利益・採算面	今期実績▲19.2（+4.6）	来期は製造業・非製造業ともに悪化見通し
■資金繰り	今期実績▲10.2（-3.4）	来期は製造業で改善、非製造業ともに悪化見通し
■設備投資	今期実績▲11.1（+1.5）	来期は製造業で減少、非製造業で増加見通し
■雇用状況	今期実績▲17.8（+4.8）	来期は製造業・非製造業ともに改善見通し
■経営上の問題点	全産業ベースで29期連続「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」がトップ	

※ 上記（ ）内の数字は前回調査比

産業天気図 ‹自社業況の総合判断：前年同期比›

	4～6月期 実績		7～9月期 見通し	
	業況	BSI	業況	BSI
全産業		▲ 23.2		▲ 18.1
製造業		▲ 18.9		▲ 16.2
非製造業		▲ 23.9		▲ 18.4
建設業		▲ 6.4		▲ 2.2
卸売業		▲ 11.1		▲ 16.0
小売業		▲ 43.2		▲ 32.1
サービス業		▲ 18.7		▲ 14.9
小規模企業等		▲ 27.8		▲ 22.5

- 凡例 -

天気	業況BSI
	50以上～100
	25以上～50未満
	0以上～25未満
	▲25以上～0未満
	▲50以上～▲25未満
	▲100～▲50未満

前年同期（2015年4～6月期）と比較して

2016年4～6月期 実績
全産業 ▲28.2〔前回調査比-5.8〕

業種別にみると、製造業は▲34.2と前回調査比10.6ポイント低下した。また、非製造業は建設業が0.3ポイント上昇したものの、その他の卸売業（同-2.2）や小売業（同-9.8）、サービス業（同-5.1）で低下がみられ、非製造業全体では▲27.4（同-5.2）とわずかに低下した。

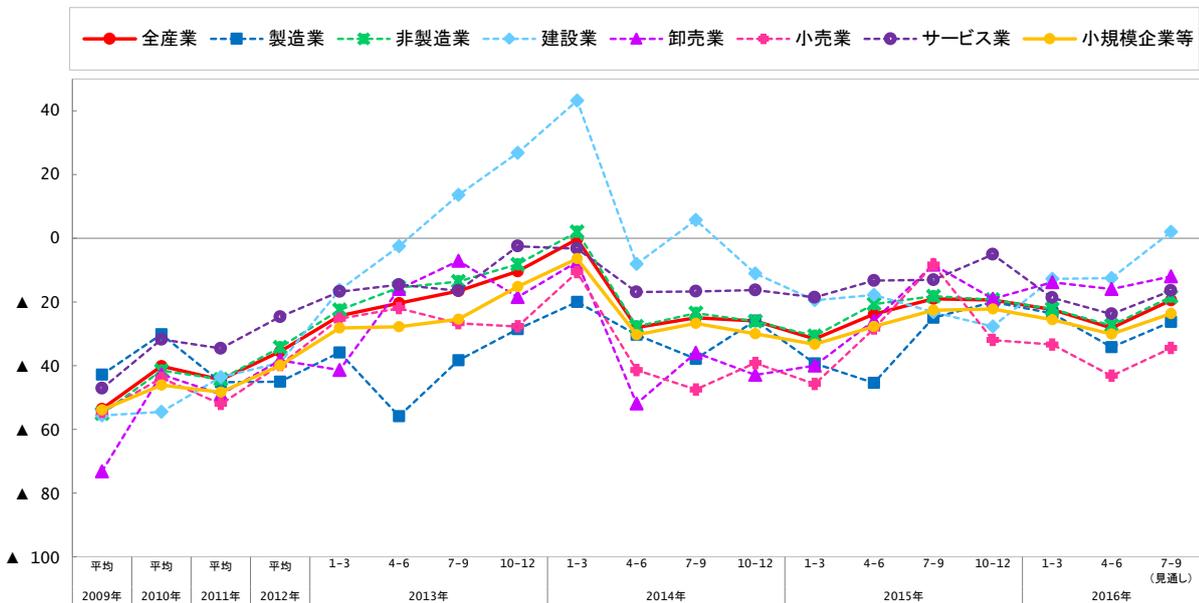
また、小規模企業等も▲30.1（同-4.5）とわずかに低下している。

2016年7～9月期 見通し
全産業 ▲19.5〔今期実績比+8.7〕

業種別にみると、製造業は▲26.3と、今期実績比7.9ポイント改善。また、非製造業も、建設業（同+14.5）や卸売業（同+4.0）をはじめ、すべての業種で改善見込みとなり、非製造業全体として9.0ポイント改善の▲18.4となった。加えて、建設業は2014年1～3月期以来10期ぶりにプラス水準となった。

また、小規模企業等も▲23.7（同+6.4）とわずかに改善した。

BSI：「上昇」-「低下」



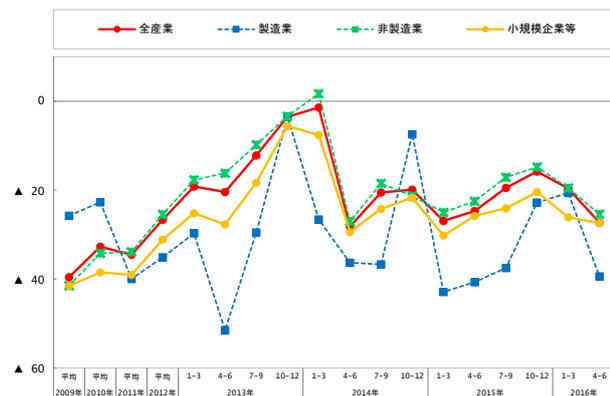
前期（2016年1～3月期）と比較して

2016年4～6月期 実績
全産業 ▲27.3〔前期比-7.7〕

業種別にみると、製造業は▲39.4と、前期比18.8ポイントの大幅な低下となった。また、非製造業は建設業が2.5ポイント改善したものの、他の業種では悪化がみられ、非製造業全体で5.9ポイント悪化の▲25.4となった。

小規模企業等は、▲27.4（同-1.3）とほぼ横ばいながらもわずかな悪化となった。

BSI：「上昇」-「低下」



前年同期（2015年4～6月期）と比較して

2016年4～6月期 実績
全産業 ▲23.2〔前回調査比-7.6〕

業種別にみると、製造業は▲18.9（同-1.2）とわずかに低下した。また、非製造業は建設業（同+1.5）がわずかに上昇したものの、卸売業（同-14.9）や小売業（同-17.9）などで低下がみられ、非製造業全体で8.6ポイント低下の▲23.9となった。

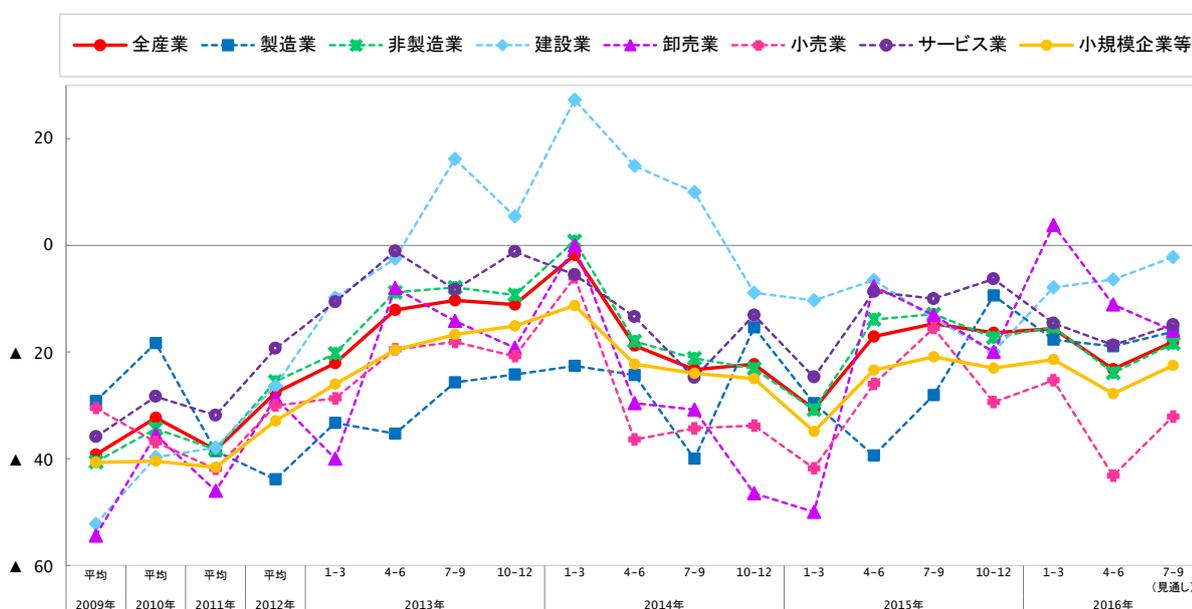
小規模企業等も、▲27.8と6.4ポイント低下している。

2016年7～9月期 見通し
全産業 ▲18.1〔今期実績比+5.1〕

業種別にみると、製造業は▲16.2（同+2.7）と今期から一転してわずかに上昇する見通し。また、非製造業は卸売業（同-4.9）が低下見通しであるが、建設業（同+4.2）や小売業（同+11.1）、サービス業（同+3.8）が改善し非製造業全体で5.5ポイント改善の▲18.4となる見通し。

また、小規模企業等は▲22.5と5.3ポイント上昇する見通し。

BSI：「上昇」-「低下」



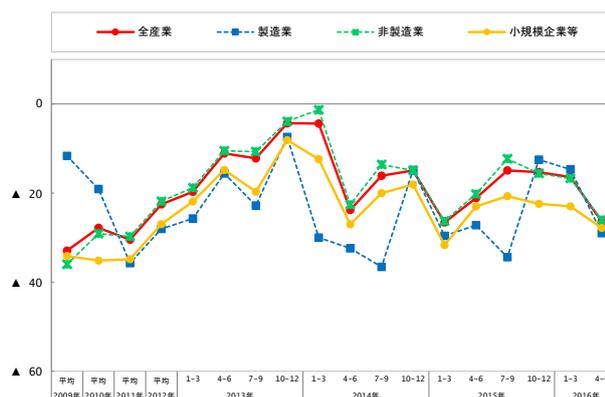
前期（2016年1～3月期）と比較して

2016年4～6月期 実績
全産業 ▲26.4〔前期比-10.0〕

業種別にみると、製造業は▲29.0と前期比14.3ポイントの低下となった。また、非製造業も卸売業（同-32.0）の大幅な低下をはじめ、建設業（同-5.1）や小売業（同-9.3）、サービス業（同-6.3）と、全ての業種で低下し、非製造業全体で9.3ポイント低下の▲26.0となった。

小規模企業等は4.8ポイント低下の▲27.8となった。

BSI：「上昇」-「低下」



前年同期（2015年4～6月期）と比較して

2016年4～6月期 実績
全産業 ▲17.2〔前回調査比-2.1〕

業種別にみると、製造業は6.0ポイント上昇の▲7.5と改善がみられた。一方、非製造業は建設業が2.5ポイント改善の±0.0、サービス業が5.9ポイント改善の▲16.7と改善したものの、卸売業（同-21.2）、小売業（同-12.3）で低下がみられ、非製造業全体で3.3ポイント低下の▲18.7となった。

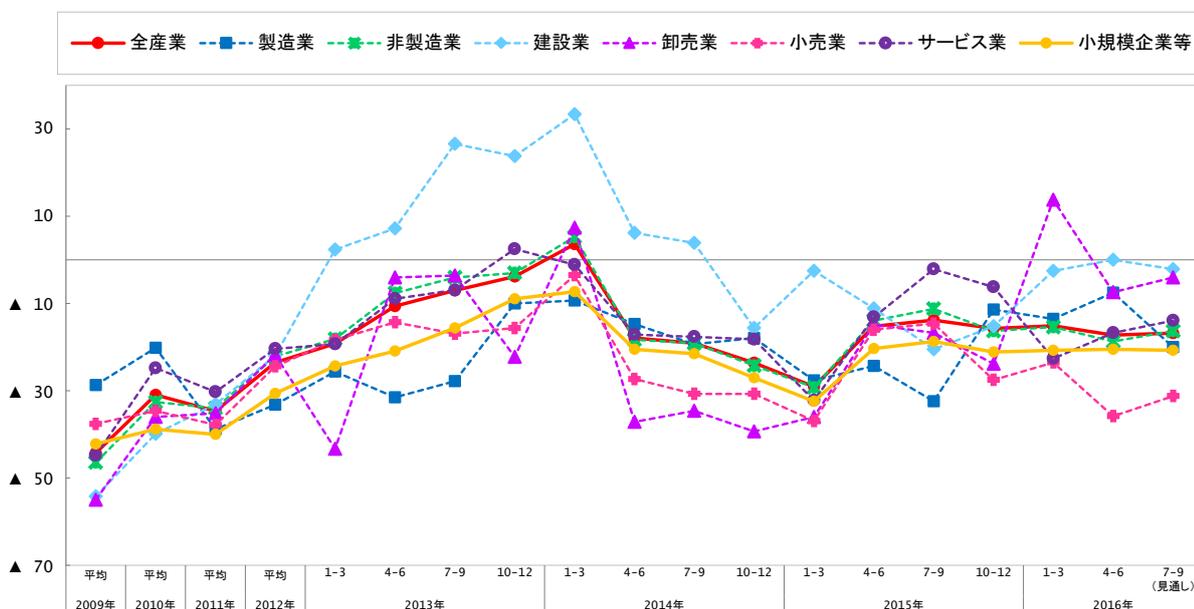
小規模企業等は、▲20.5（同+0.2）とほぼ横ばいの結果となった。

2016年7～9月期 見通し
全産業 ▲16.8〔今期実績比+0.4〕

業種別にみると、製造業は▲20.0と12.5ポイントの低下見通しとなった。一方非製造業は、建設業（同-2.1）がわずかに悪化したものの、卸売業（同+3.4）や小売業（同+4.6）、サービス業（同+2.8）とそれぞれわずかに改善し、非製造業全体で▲16.3（同+2.4）の見通しとなった。

小規模企業等は▲20.7（同-0.2）と、ほぼ横ばいの見通しとなった。

BSI：「増加」-「減少」



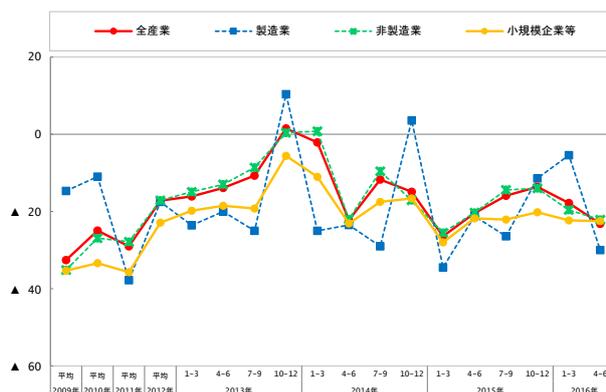
前期（2016年1～3月期）と比較して

2016年4～6月期 実績
全産業 ▲23.2〔前期比-5.4〕

業種別にみると、製造業は前期比-24.6ポイントの▲30.0と、大幅に低下した。また、非製造業は建設業（同+2.1）やサービス業（同+3.0）で改善がみられたものの、卸売業（同-27.7）や小売業（同+3.9）で低下し、非製造業全体で2.5ポイント低下の▲22.1となった。

小規模企業等は、▲22.5とほぼ横ばいの結果となった。

BSI：「増加」-「減少」



前年同期（2015年4～6月期）と比較して

2016年4～6月期 実績
全産業 ▲19.2〔前回調査比-4.6〕

業種別にみると、製造業は▲18.0と1.5ポイントのわずかな改善となった。一方、非製造業は建設業（同+4.2）がわずかに改善したものの、卸売業（同-33.8）で大幅な低下をはじめ、小売業（同-2.8）、サービス業（同-4.5）で低下がみられ、非製造業全体では5.5ポイント低下の▲19.3となった。

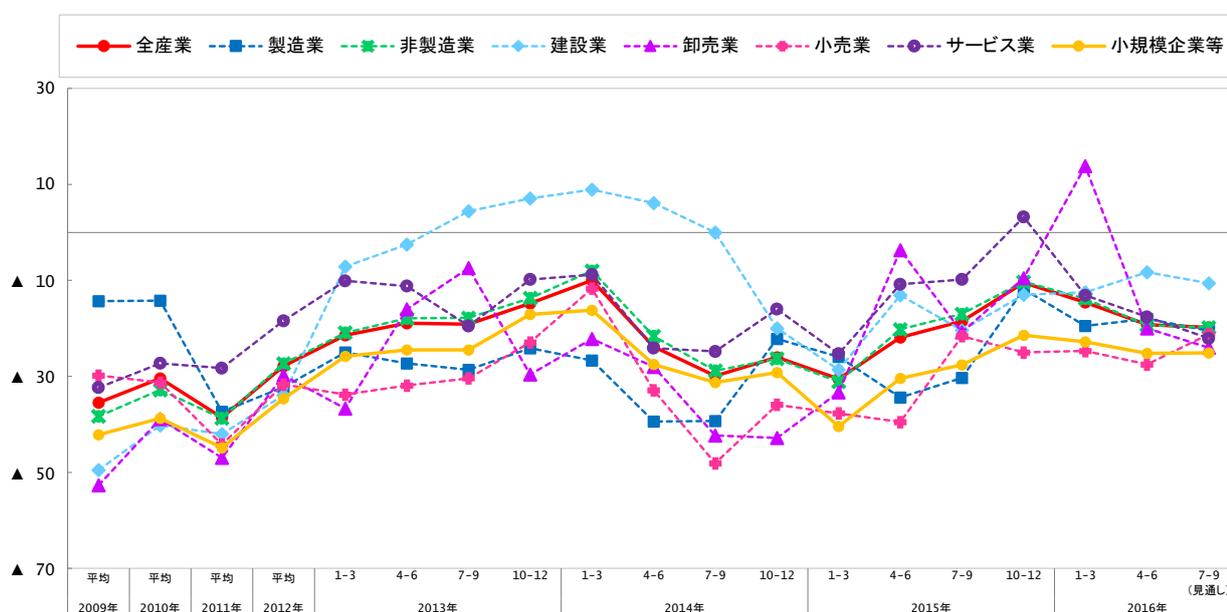
小規模企業等は、2.4ポイント低下の▲25.2となった。

2016年7～9月期 見通し
全産業 ▲19.8〔今期実績比-0.6〕

業種別にみると、製造業は▲20.5と2.5ポイントの低下見通しとなった。また、非製造業は小売業（同+6.3）で改善見通しとなったものの、その他の業種では低下見通しとなり、非製造業全体で0.5ポイント低下の▲19.8となった。

小規模企業等は▲25.1（同+0.1）とほぼ横ばいの見通しとなった。

BSI：「好転」－「悪化」



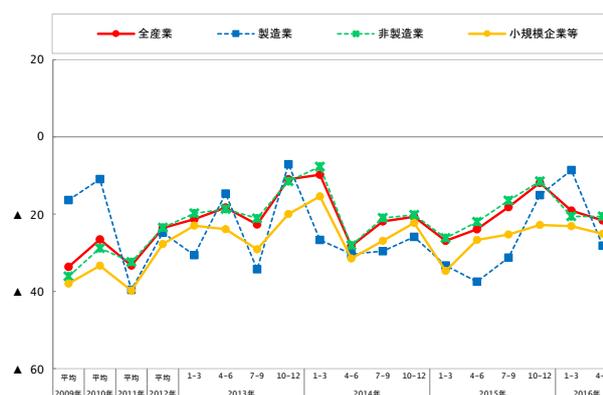
前期（2016年1～3月期）と比較して

2016年4～6月期 実績
全産業 ▲21.6〔前期比-2.5〕

業種別にみると、製造業は▲28.2と、前回調査比19.6と大幅な低下となった。一方、非製造業は卸売業（同-28.4）が大幅な低下となったものの、小売業（同+2.4）、サービス業（同+6.2）で改善がみられ、非製造業全体では▲20.3（同+0.0）の横ばいとなった。

小規模企業等は、2.0ポイント低下の▲25.1となった。

BSI：「好転」－「悪化」



前年同期（2015年4～6月期）と比較して

2016年4～6月期 実績
全産業 ▲10.2〔前回調査比-3.4〕

業種別にみると、製造業は▲21.6と前回調査比15.9ポイント悪化した。また、非製造業も小幅な悪化がみられ、非製造業全体で▲8.5と前回調査比1.5ポイントのわずかな悪化となった。

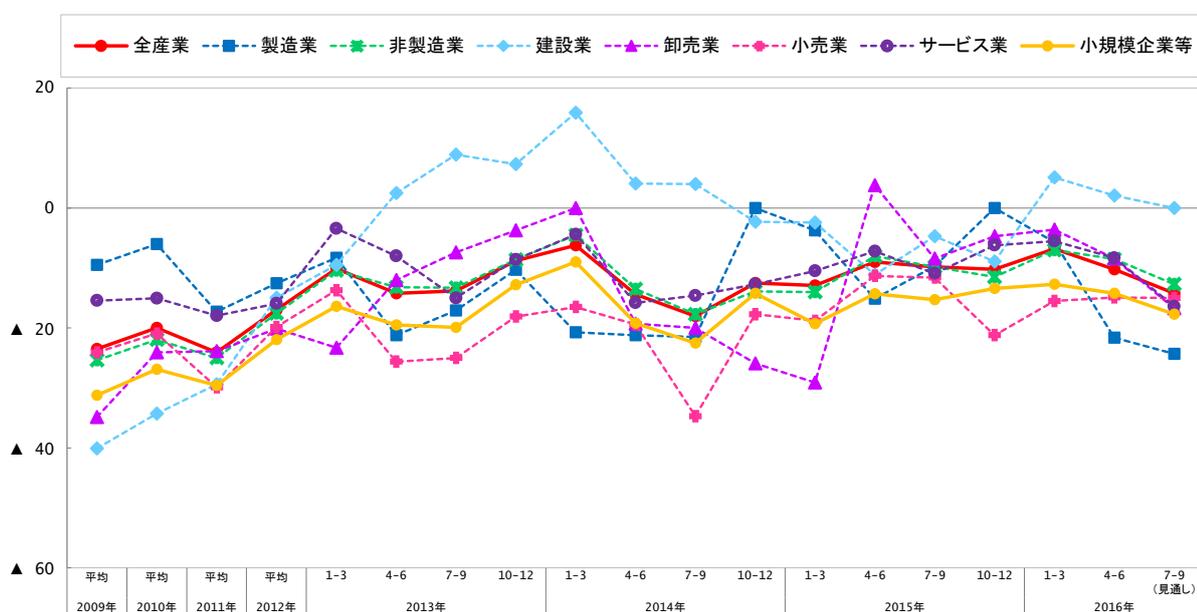
また、小規模企業等は▲14.2と、1.5ポイントのわずかな悪化となった。

2016年7～9月期 見通し
全産業 ▲14.2〔今期実績比-4.0〕

業種別にみると、製造業は▲24.3と、今期実績比2.7ポイントの悪化となる見通し。また、非製造業も建設業（同-2.1）や卸売業（同-8.3）をはじめ全ての業種で悪化となり、非製造業全体で▲12.7（同-4.2）となる見通し。

小規模企業等は、▲17.7と、3.5ポイント悪化の見通しとなった。

BSI：「好転」-「悪化」



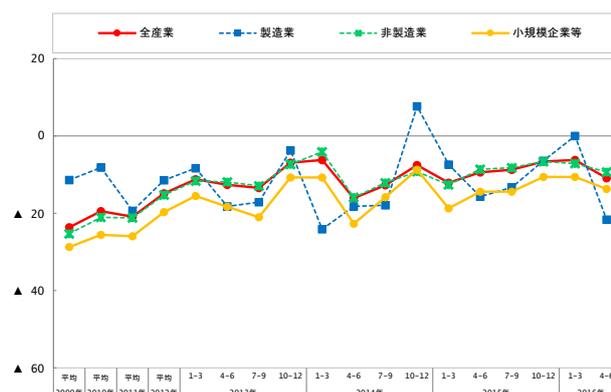
前期（2016年1～3月期）と比較して

2016年4～6月期 実績
全産業 ▲10.9〔前期比-4.7〕

業種別にみると、製造業は▲21.6と前期比21.6ポイントの大幅な悪化となった。非製造業は小売業（同+5.4）がわずかに改善となったものの、他の業種では悪化がみられ、非製造業全体では2.2ポイント悪化の▲9.3となった。

また、小規模企業等は▲13.7（同-3.1）とわずかな悪化となった。

BSI：「好転」-「悪化」



前年同期（2015年4～6月期）と比較して

2016年4～6月期 実績
全産業 ▲11.1〔前回調査比+1.5〕

業種別にみると、製造業は▲5.4と前回調査比9.3ポイント増加している。また、非製造業は建設業（同-4.2）、サービス業（同-6.2）で減少したものの、卸売業（同+3.3）、小売業（同+10.4）で増加し、非製造業全体で0.4ポイント増加の▲12.0となった。

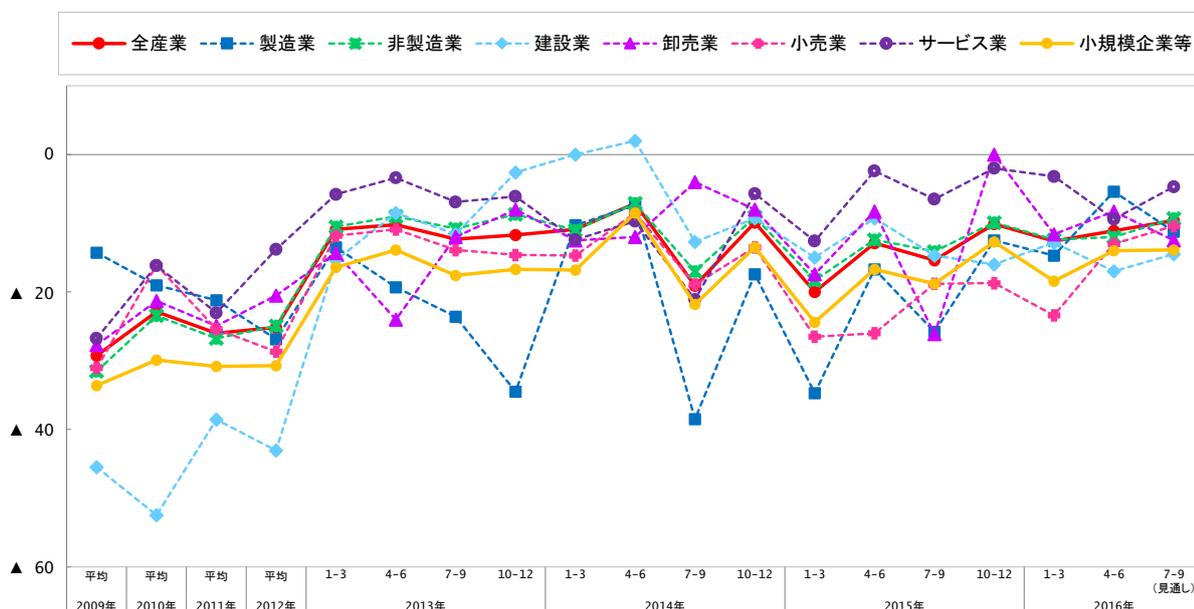
また、小規模企業等も4.4ポイント増加し、▲14.0となった。

2016年7～9月期 見通し
全産業 ▲9.6〔今期実績比+1.5〕

業種別にみると、製造業は今期から一転して減少見通しの▲11.2（同-5.8）となった。一方、非製造業は卸売業が減少見通しに転じたものの、他の業種では増加傾向となり、非製造業全体で2.7ポイント増加見通しの▲9.3となった。

小規模企業等は今期とほぼ横ばいの▲13.9（同+0.1）の見通しとなった。

BSI：「増加」-「減少」



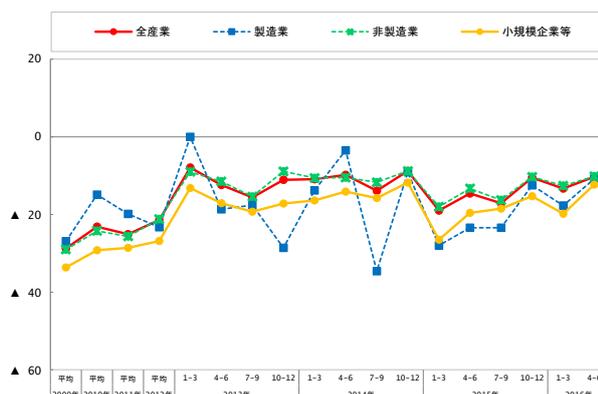
前期（2016年1～3月期）と比較して

2016年4～6月期 実績
全産業 ▲10.3〔前期比+3.0〕

業種別にみると、製造業は▲10.8と前期比6.9ポイント改善となった。また、非製造業は建設業（同-3.8）、卸売業（同-8.0）が低下したものの、小売業（同+10.4）、サービス業（同+1.9）で増加しており、非製造業全体で2.4ポイント増加の▲10.2となった。

小規模企業等は▲12.3と前期比7.5ポイント増加している。

BSI：「増加」-「減少」



前年同期（2015年4～6月期）と比較して

2016年4～6月期 実績
全産業 ▲17.8〔前回調査比+4.5〕

業種別にみると、製造業は▲23.7と、前回調査比18.1ポイント悪化している。また、非製造業は建設業（同+17.1）や卸売業（同+22.4）をはじめ全ての業種で改善しており、非製造業全体で7.9ポイント改善の▲16.9となった。

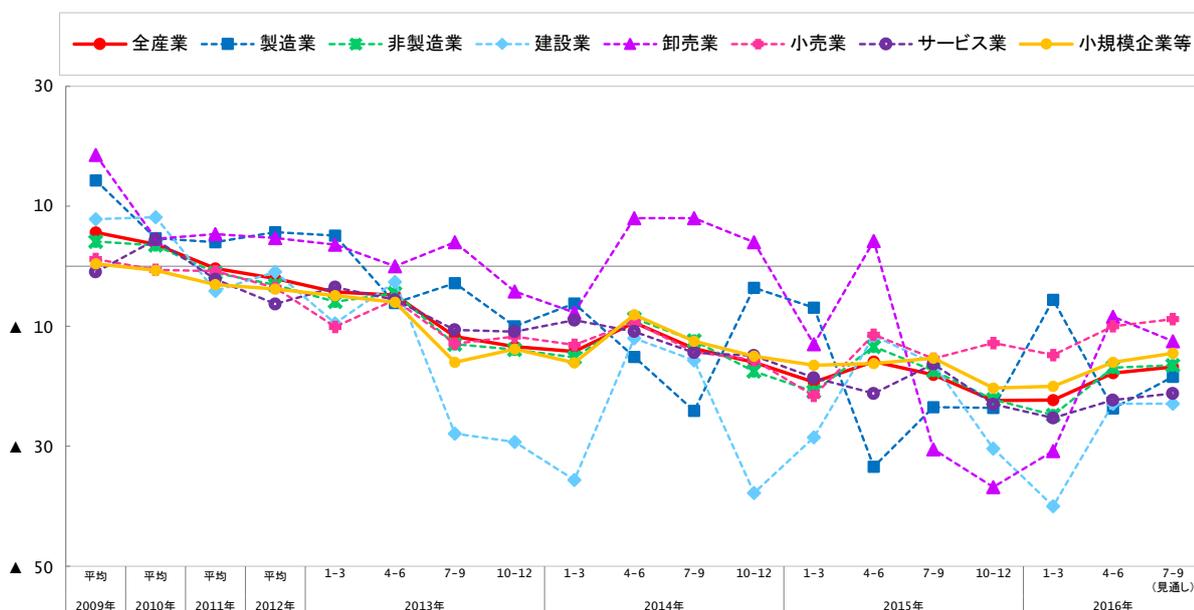
小規模企業等も、4.0ポイント改善し、▲16.0となった。

2016年7～9月期 見通し
全産業 ▲16.8〔今期実績比+1.0〕

業種別にみると、製造業は今期からさらに5.3ポイント改善見通しの▲18.4となった。また、非製造業は卸売業（同-4.1）が悪化見通しとなったものの、その他の業種ではほぼ横ばいながらも改善見通しの傾向となり、非製造業全体で0.4ポイント改善の▲16.5となった。

小規模企業等は、▲14.5（同+1.5）とわずかに改善の見通し。

BSI：「過剰」-「不足」



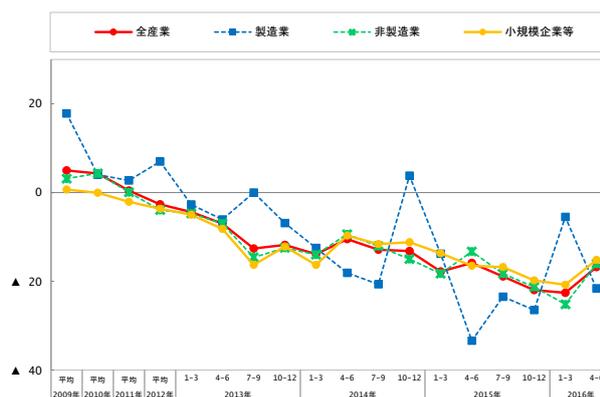
前期（2016年1～3月期）と比較して

2016年4～6月期 実績
全産業 ▲16.8〔前期比+5.8〕

業種別にみると、製造業は前期比16.1ポイント悪化の▲21.6となった。一方、非製造業は建設業（同+26.3）、卸売業（同+23.1）で大幅な改善となったことをはじめ、その他の業種でも改善がみられ、非製造業全体で9.1ポイント改善の▲16.1となった。

また、小規模企業等は5.6ポイント改善の▲15.2となった。

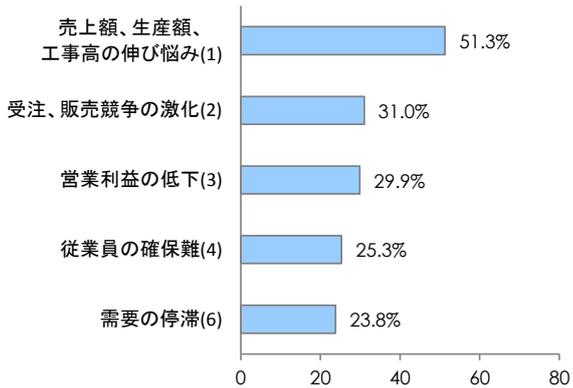
BSI：「過剰」-「不足」



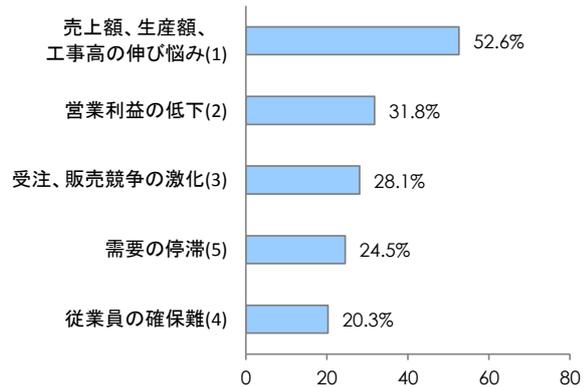
全産業ベースで見ると、トップは「売上高、生産額、工事高の伸び悩み」（51.3%）。前回調査（42.1%）からわずかに増加した。また、2009年4～6月期の調査開始以来29期連続でのトップとなり、非常に根深い問題点となっている。

その他の特徴的な傾向として、「受注、販売競争の激化」や「営業利益の低下」、「従業員の確保難」など、前回調査と同じ項目が継続して経営上の問題点の上位を占めている。

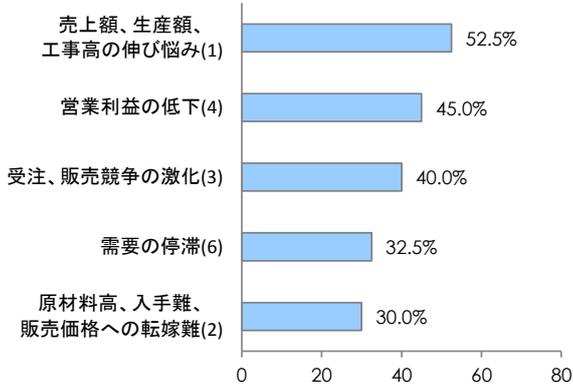
全産業



小規模企業等



製造業



非製造業

